

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	篠栗町役場			代表者名	篠栗町長 三浦 正
担当者部署	財産活用課			連絡先電話番号	092-947-1171
担当者役職	主事	担当者氏名	田中 拓来	連絡先E-mail	
住所	811-2492 福岡県篠栗町中央1丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX推進計画策定に向けて作成したガントチャートについての確にご指摘くださり、計画策定に向けたビジョンが確認できたため。また、こちらからの提案について、それぞれ具体的な対応までお話してくださったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年7月20日	支援・助言	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			14時00分	15時00分	0
				活動時間（分）	60

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	篠栗町ではDX化に関する計画が未策定となっている。当課としても町全体のDX化の推進を行いたいものの、全庁的な指針もないため、現時点では、各課からの要望に基づき、徐々にシステム化をしている段階となっている。そのため、部分最適の対応となっており、全体最適によるDX化には課題がある状況。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	篠栗町の住民および職員みんなが、デジタルの恩恵を受けられるようなDX推進計画の策定。→5年後にどうなっていたいかをテーマに、職員みんなでDXについて考える。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	計画策定に向けた考え方について以下のとおりご意見をいただいた。 ①「ビジョン」がはっきりした計画を立てる ②住民を巻き込んだ計画を立てる ③計画策定に向けた委員を選出する（若手のうち意見を積極的に述べてくれる人） ④職員向けアンケート実施する	
支援を受け改善又は解決された内容	計画策定に向けた今日からのアクションプランが明確になった。	

